



ニュースレター

2018 年 7 月

エイピーピー・ジャパン株式会社
 東京都品川区東五反田 2-10-2
 サステナビリティ・
 コーポレートコミュニケーション本部
 山崎・加藤
 Tel: 03-5795-0023
 Email: sustainability@appj.co.jp

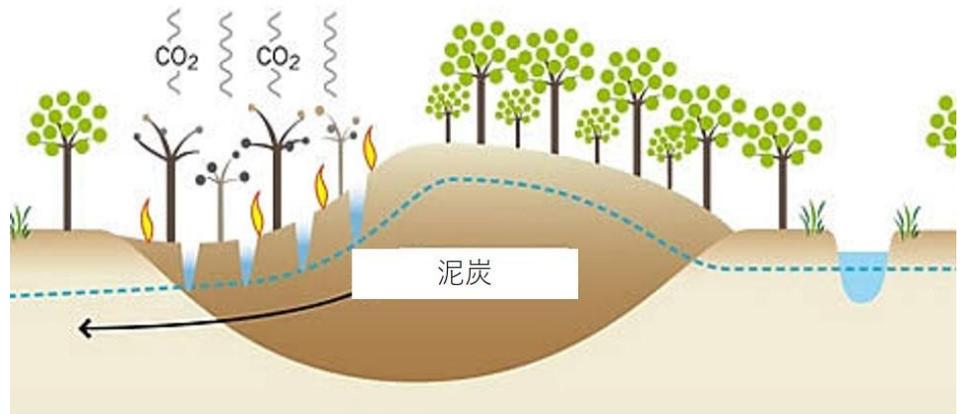
エイピーピー・ジャパン広報代理
 株式会社コスモ・ピーアール
 高橋・藤井
 Tel: 03-5561-2915
 appj@cosmopr.co.jp

生態系が多様な熱帯泥炭地の 36%がインドネシアに集中

インドネシアの低湿地には、樹木や葉が微生物分解されずに堆積した広大な泥炭地が広がっています。泥炭地は、植物遺骸がタンニンを豊富に含んだ水のしみこんだ土壤中で腐敗し、数百年から数千年もの間にわたり、有機物が徐々に何層も堆積して形成されます。炭素を多く含み、多様な生物種が生息している独特な生態系です。



インドネシアには、世界の熱帯泥炭地の約 36%が集中しています。インドネシアの泥炭地は、世界の他の地域では見られない多くの哺乳類、鳥類、両生類、蝶類の住処となっており、その高い生物多様性から、世界の生物ホット



スポットのひとつに位置付けられています。

泥炭地の生態系は壊れやすくもあります。湿地の中央部にドーム状に堆積している泥炭(泥炭ドーム)の端を攪乱しただけでも、景観全体の水文に影響することがあります。しばしば産業型農業の準備のために行われることですが、地上の天然植生が皆伐され、ドームが灌漑されると、泥炭土壌はすぐに乾燥し、非常に燃えやすくなります。

開発、乾燥化で火災が増加

インドネシアでは 1990 年代、泥炭地に排水路を掘り、乾燥させるなどの大

規模開発が進められ、急激に土地の乾燥化や地下水位の低下が進みました。このため、泥炭地における森林火災が発生しやすいのです。

泥炭林の火災により大量の二酸化炭素が放出

泥炭地は、泥炭地ではない鉱質土壌の最大 20 倍の炭素を蓄えています。泥炭林は、典型的な熱帯林の何倍もの炭素を保持し、炭素の大部分が地下に存在しています。しかし、ひとたび森林火災が発生すると、泥炭林の消失により大量の二酸化炭素が大気中に放出されてしまいます。

森林火災による森林消失は、気候変動の原因といわれる温室効果ガスの増加にも影響するため、インドネシアにおける泥炭地開発は温室効果ガス排出要因の一つとされています。このため、泥炭地からの炭素の排出を抑えることが、気候変動対策として極めて重要です。



一方、インドネシア政府は火災で焼失した泥炭地の復元管理に努めています。2016年に設立された泥炭復興庁は、2020年までに200万haの泥炭地を復元することを目指しており、ジョコ・ウィド大統領は、より良い泥炭地のマッピングと区域指定が行われるまでの間、泥炭地のさらなる商業開発の一時停止を命令し、灌漑されて荒廃した土地の一部を復元する一連のプロジェクトを進めています。



ジョコ・ウィド大統領

インドネシアのシティ・ヌルバヤ環境林業大臣は、「インドネシアは93.6%もの火災を削減しました。この成功はジョコ・ウィド大統領が本気で、泥炭地における共有地と森林の火災予防を国家の優先事項と位置づけた証です」と述べています(アンタラ通信)。

国連環境計画(UNEP)のエリック・ソルヘイム事務局長は、インドネシアの泥炭地復元管理の成功を賞賛しつつ、

「同様の問題に直面しているほかの国々にとってのモデルケースとして貢献する可能性がある。国際社会は世界最大の泥炭地の一つである1,500万ha以上の泥炭地をインドネシアがどのように管理しているかを注視している」と語っています(ストレーツ・タイムズ)。

しかし、豪クイーンズランド大学によれば、200万haの泥炭林を復元するというインドネシアの目標の達成には全体で46億米ドル以上の費用がかかる見込みで、インドネシアの劣化した泥炭林を復元するための資金調達が大幅に不足しているとしています。

APP が貴重な泥炭地での植林操業を停止

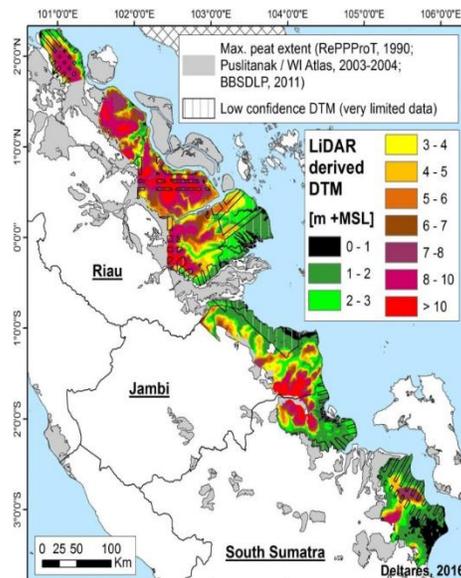
インドネシアの紙パルプ製造大手、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ(以下、APP)は、2013年、森林保護方針(FCP)を制定しました。FCPの主要方針は自然林伐採ゼロ(ゼロ・デフォレステーション)と泥炭地の管理です。APPはオランダの泥炭地管理専門機関のDeltaresに委託して泥炭地の最善管理慣行を導入し、危機的状況にある泥炭地の保全を目的に、2015年、約7,000haにおよぶ泥炭地上の自社商業植林地の操業を停止しました。環境保全を目的とした植林地の操業停止は世界初の事例です。



熱帯泥炭地で過去最大のマッピング作業を実施

操業を停止した区域はリアウ州ケルムタンの2ヶ所の植林地です。加えて、APPはDeltaresと協働して、LiDAR遠隔センシング技術を活用した熱帯泥

炭地としては過去最大規模の550万ヘクタールにおよぶスマトラ島とカリマンタン島の泥炭地図を作製しました。



さらに2016年、新たな泥炭地管理のプロジェクトを発表し、APPの原料供給会社周辺の泥炭地の水位を上げるため、5,076以上の境界水路を堰き止めて貯水池を建設しました。また、APPは泥炭地での生育に適した代替樹種の研究開発にも着手しています。



とくに森林火災が発生しやすい泥炭地を管理・保護する取り組みは、APPの新しい総合火災管理戦略の最重要項目となっています。熱探知カメラの導入、GPSデータの送信などによる新たな取り組みは、泥炭地における森林火災リスクを飛躍的に低減させると期待されています。